



令和8年8月18日

長井市小・中学校教育環境等検討委員会 委員長 様

長井市教育委員会

諮 問 書

下記の事項について、諮問します。

記

1 諮問事項

- (1) 中学校における今後の生徒数の推移を見据えた教育環境のあり方について
- (2) 地域生活拠点における小学校の教育環境のあり方について

2 諮問理由

別紙のとおり

○諮問理由

長井市教育委員会では、「長井の心」を育む文教のまちを基本理念とし、「豊かに生きる力・しなやかな心を持つ子供を育むまち」「学校・家庭・地域が連携・協働するやさしいまち」「市民誰もが幸せや生きがいを感じる元気なまち」の3つの教育施策の目標と方針を定め、ICT機器を活用したGIGAスクール構想の推進、各学校にALTを配置しての日常生活レベルから英語に親しむ学習環境の整備、多様性（ダイバーシティ・インクルーシブ）を重視した教育を進め、特認校制度を利用した英語教育の充実、山形県立米沢養護学校の児童生徒との交流を通じた多様性の理解尊重、積極的な地域への開放、地域人材の活用など、それぞれの小学校が地域の核（拠点）として地域の特色を活かした教育を、中学校はふるさとを愛し、地域活動に積極的に参加するなど規模を活かしながらも個々の可能性を拓ける教育を展開し、児童生徒をはじめ、地域住民からのご理解、ご協力を得てきました。

一方で、人口減少が予想される状況のもと、令和3年度から将来の人口減少下におけるあるべき教育の理想の姿について、長井市小中学校将来構想検討委員会を開催し、令和5年3月に「これからの学びと学校の在り方」について提言を受けたところです。本提言では、目指すべき理想の姿やその実現のために必要なことを示しながら今後の長井市が目指すべき方向性をご提言いただき、施設整備を含めた今後の方針については、改めて検討することとしました。本提言に基づき、「目指す理想の姿」の実現に向けて、教育環境の整備を行ってきました。

本提言から3年が経過し、長井市の現状は、令和8年4月1日現在の児童生徒数が小学校1,022名、中学校586名となり、5年後の令和13年度には小学校763名、中学校533名になり以降も減少することが見込まれます。施設面においても昭和45年から平成2年にかけての建築が大半を占め、老朽化等が進んでいます。

改めて将来に向けた児童生徒の減少、老朽化する施設への対応を行いながら、長井市総合計画、長井市立地適正化計画、長井市教育振興計画等の定める市の将来像、長井市小中学校将来構想検討委員会でお示しいただいた「目指す理想の姿」等を踏まえ、長井市の教育施策である「豊かに生きる力・しなやかな心を持つ子供を育むまち」「学校・家庭・地域が連携・協働するやさしいまち」「市民誰もが幸せや生きがいを感じる元気なまち」の実現に向けて、地域の伝統、文化など特色等を活かし、地域で子どもを見守り・育てるため、小学校、中学校における教育の特性、小学校における地域生活拠点としての教育環境等の整備のあり方を検討し、常に子ども達にとって安全で安心できる環境の確保を図ることが大切です。

これらの実現のため、貴委員会の意見を求めるものです。